



# リニューアル版 ラップニュース

VOL.259

2024.10.1

発行：ラップ東京株式会社

<https://www.raptokyo.co.jp/>

(無断転載厳禁)

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは [www.raptokyo.co.jp](http://www.raptokyo.co.jp) から

## 「雨垂れ石を穿つ」

新規でホームページを制作させていただくとき、ほとんどのお客様は「検索で上に来るようにお願いします」とおっしゃいます。特定のキーワードで検索した際、Google 上位に表示したいという要望です。そのようなとき私は、「人が見て参考になるページなら Google もそれを評価し、検索をする「人」のために有効なページを上位に表示します。」と答えるようにしています。「百科事典」や「イミダス」「現代用語の基礎知識」を思い浮かべてみてください。昔の方なら知っているとありますが、情報が詰まっている書籍です。知りたいこと、調べたいことがそれらを見ればおおよそ知ることができます。Google も、それと同様だと思っています。

Google は検索結果に表示される広告が主な収入源ですから、ユーザーがあるキーワードで検索した結果が当てにならないと思われ、利用されないことが脅威です。常に表示されるページに、ユーザーが求めている情報があるのか？ ということを複合的に判断しています。

では、どのような情報が有益とされるのでしょうか。私の答えは、「〇〇を行っているなら、〇〇に関する情報を定期的に増やしていく」というものです。1日1件でも1年で365ページ、営業日ベースでも200ページは増えます。1週間に1件でも1年で52ページ、3年続ければ150ページです。ホームページの特性上、1件の情報を組み合わせ、掛け算で増やすことができます。

内容は業種にもよりますが、業務内容に沿った事例や実績、具体性を示すものがよいと思います。(題材を無理に探さなくてもよい) 私の経験では、お客様のニーズにあっていただければ、短い記事でも検索でヒットして、きつちりと表示されています。お客様が最初に見るページがトップページとは限りません。このようなことは、継続が難しければ難しいほど他の人は消極的です。「ユーザーに有益な情報が掲載されているホームページ」と評価されるためには、現実の社会と同じで、コツコツと人の役に立ち、真面目な努力によって信頼を得て、新規のお客様を獲得できたり、別のお客様を紹介していただいたり、続いていくのではないのでしょうか。

さて、以前、新規ホームページを開設するとき「検索結果の上に表示されるとかは気にしていませんので」というお客様がいました。理由をお聞きしたところ、「うちの業界、口コミと信用が大きいので」とのこと。なるほど、その方の「仕事の仕方」をみていると少し理解できます。

そういうえば、私の旧知の人はいまだにホームページがありません。名刺一枚で営業しているようですが、取引先は上場企業ばかり。ホームページを作る気は無いようですが、どのように仕事をとっているのか？ 紹介だとしても相手側はホームページでどのような会社かを知りたくないのか？ いまだに不思議です。

## ご案内

それほど高性能ではなく、更新したいページを簡単に更新できる

簡単更新くん

「つながりたい」をサポートする

簡単らいんちゃん

詳細はホームページから  
<https://www.raptokyo.co.jp>

【この件に関するお問い合わせ】

ラップ東京株式会社  
(担当：田島)

ラップニュース バックナンバーはホームページからご覧いただけます。

アンケートがありますのでよろしかったら、ご意見をお聞かせください。<https://www.raptokyo.co.jp/>

